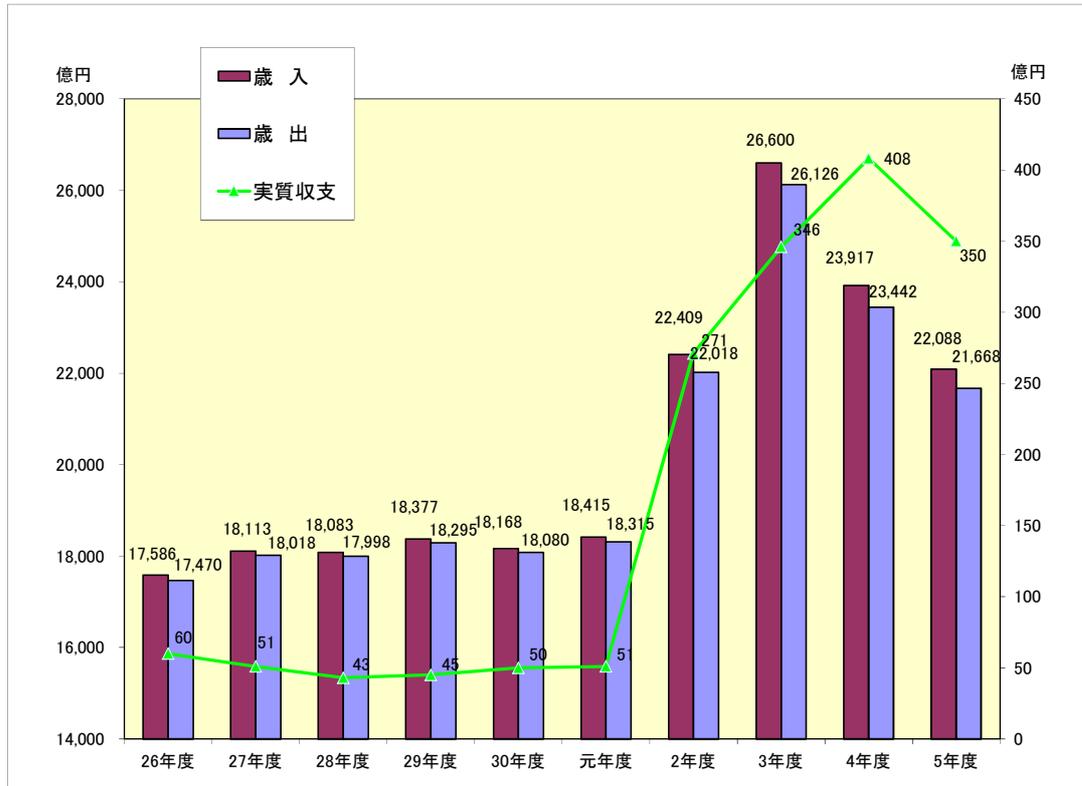


一般会計決算額の推移



(単位：億円、%)

区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
歳入	17,586	18,113	18,083	18,377	18,168	18,415	22,409	26,600	23,917	22,088
歳出	17,470	18,018	17,998	18,295	18,080	18,315	22,018	26,126	23,442	21,668
差引	116	95	85	82	88	101	392	474	475	420
翌年度へ繰り越すべき財源	57	44	42	37	38	50	120	128	66	71
実質収支	60	51	43	45	50	51	271	346	408	350
標準財政規模	11,478	11,834	11,912	11,756	11,870	12,015	12,207	12,967	12,691	12,953
実質収支比率	0.5	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	2.2	2.7	3.2	2.7

※四捨五入の関係で、合計が一致しない場合がある。

◆ 用語説明 ◆

●一般会計

行政予算の基本的な経費を計上した会計の本体を成すもの。

●翌年度へ繰り越すべき財源

翌年度に繰り越す事業に充てるための財源のうち収入済のもの。

●実質収支

形式収支（歳入－歳出）から翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いたもので、本来当該年度に属すべき収入と支出との実質的な収支。

●実質収支比率

標準財政規模に対する実質収支額の割合。

●標準財政規模

地方公共団体の標準的な状態で通常収入されるであろう経常的一般財源の規模を示すもので、標準税収入額等に普通交付税を加算した額。